

基本的な時代理解を踏まえて、資料の趣旨を把握する問題

共通テスト 第4問 問2

リード文
(貨幣の写真と
先生と生徒の会話文)

問2 授業の後、生徒たちは授業の内容を基にメモを作成した。前の文章を参考にしつつ、生徒たちがまとめた次のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [22]

佐々木さんのメモ

貨幣2を発行した王朝は、各地で使われていた言語を行政において用いることを認めていたが、貨幣2の発行者はそれをアラビア語に変更するなど、統治制度の改革を進めた。アラビア文字のみが刻まれた独自貨幣の発行も、そのような改革の一例であったと言える。

鈴木さんのメモ

貨幣2を発行した王朝は、貨幣1を模倣しながらも、十字架の図柄を改変しコーラン(クルアーン)の言語で刻まれた銘文を採用して、王朝の支配者がイスラム教を信仰していることも明確に打ち出した。

広田さんのメモ

ソリドゥス金貨は、ヴァンダル王国を滅ぼした皇帝によって発行が始められた。それが地中海世界において国や地域を超えて流通しており、その信用性を利用しようとしたことが、貨幣2が貨幣1を模倣して発行された理由の一つだった。

- ① 佐々木さんのみ正しい。
 ② 佐々木さんと鈴木さんの二人のみが正しい。
 ③ 鈴木さんと広田さんの二人のみが正しい。
 ④ 三人とも正しい。

第3回ベネッセ・駿台模試 第1問 問9

リード文
(碑文の一部を示した資料と
先生と生徒の会話文)リード文
(19世紀以降の新疆に関する年表と
先生と生徒の会話文)

問9 下線部①について、この発問に対する生徒の発言の正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 [9]

- 平 林：ガリアでローマ皇帝の神格化が始まったのは、ディオクレティアヌス帝の治世だった。
 宮 崎：ヤークープ＝ベクも揚増新も、外国の協力を得て新疆の独立を維持しようとした点が共通している。
 渡 辺：新疆が、清朝滅亡後の中国政府の管理下に入ったのは、中華人民共和国の成立後である。

- ① 平林のみ正しい。
 ② 宮崎のみ正しい。
 ③ 渡辺のみ正しい。
 ④ 全員正しい。

いずれも、リード文の趣旨を把握したうえで、生徒のメモや発言の正誤を判断することが求められた。会話文や資料で扱われた時代への基本的な理解を踏まえ、判断の手がかりとなる情報を読み取ることがポイントであった。

資料を用いて荀子の思想を問う問題

共通テスト 第1問 問3

問3 下線部㉓に関して、AとBは次の資料を図書館で見付けた。荀子の思想と資料の内容についての説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料『荀子』より
(著作権の都合により非表示としています)

- ① 人間は教育によって矯正し得ない欲望を生まれつき持つとする荀子は、資料において、孟子が学習などにより後天的に獲得されるものを、人の生得的な性質だと勘違いしているとして批判している。
- ② 人間が生まれつき持つ性質は欲望であり、生得的な善を備えてはいないと考える荀子は、資料において、性善説を唱える孟子を批判し、礼義は学びや取り組みによって後天的に習得し得るものであるとしている。
- ③ 人間における善を後天的な矯正の産物であるとする荀子は、資料において、孟子が善を学問によって獲得できるとすることを批判し、そのようにして獲得されるものは偽物にすぎないから不要だと述べている。
- ④ 人間の本性は邪悪であり、善を身に付けることはできないと考える荀子は、資料において、人は学びを通じて礼義を習得すると考える孟子の説を、性を理解していない虚偽だと批判している。

第1回ベネッセ・駿台模試 第1問 問1

問1 下線部㉔に関して、次の資料から読み取れる荀子の主張として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料

人の性は悪なり、其の善なるは偽なり。今、人の性、生まれながらにして利を好むあり。是れに順う、故に争奪生じて、辞讓^{じじやう}亡ぶ。……(中略)……故に必ず將^{まさ}た師法の化、礼義の導きあって、然る後に辞讓に出で、文理に合して、治に帰す。此れを用^{もち}て之を觀^みるに、然らば則ち人の性は悪なること明らかなり。其の善なるは偽なり。 (『荀子』より)

- ① 人は生まれながらに個人的な利を求めるようにできているから、争いごとが起こる。人のよい性質は、師による教化や礼義による矯正の結果である。
- ② 人には生来、他人を妬み憎む性質があるから、他人を傷つけてしまう。他人に誠実であると思われるような振る舞い方を身につけるのが得策である。
- ③ 人の本性は欲望を満たすことであるから、放任すれば必ず争いごとが起こる。ゆえに、官吏による法の制定や法による秩序の維持が必要である。
- ④ 人の本性は理であるが、気に基づく私欲に妨げられ、その本質を完全に発揮できないでいる。ゆえに、師の教えに従い、礼義を守ることが必要である。

いずれも、荀子の資料を用いてその思想の理解が問われた。荀子がとなえた性悪説を正確に理解したうえで資料を読解することが求められ、人が生まれながらにして持つ性質は欲望であり、善は師による教化や礼儀による矯正の結果であると想起することがポイントであった。

資料を用いて荀子の思想を問う問題

共通テスト 第1問 問6

問6 下線部④に関して、AとBは次の資料を図書館で見付けた。荀子の思想と資料の内容についての説明として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料『荀子』より
(著作権の都合により非表示としています)

- ① 人間は教育によって矯正し得ない欲望を生まれつき持つとする荀子は、資料において、孟子が学習などにより後天的に獲得されるものを、人の生得的な性質だと勘違いしているとして批判している。
- ② 人間が生まれつき持つ性質は欲望であり、生得的な善を備えてはいないと考える荀子は、資料において、性善説を唱える孟子を批判し、礼義は学びや取り組みによって後天的に習得し得るものであるとしている。
- ③ 人間における善を後天的な矯正の産物であるとする荀子は、資料において、孟子が善を学問によって獲得できるとすることを批判し、そのようにして獲得されるものは偽物にすぎないから不要だと述べている。
- ④ 人間の本性は邪悪であり、善を身に付けることはできないと考える荀子は、資料において、人は学びを通じて礼義を習得すると考える孟子の説、性を理解していない虚偽だと批判している。

第1回ベネッセ・駿台模試 第1問 問1

問1 下線部③に関して、次の資料から読み取れる荀子の主張として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料

人の性は悪なり、其の善なるは偽なり。今、人の性、生まれながらにして利を好むあり。是れに順う、故に争奪生じて、辞讓^{ほろ}まぶ。……(中略)……故に必ず^した師法の化、礼義の導きあって、然る後に辞讓に出で、文理に合して、治に帰す。此れを用て之を觀るに、然らば則ち人の性は悪なること明らかなり。其の善なるは偽なり。 (『荀子』より)

- ① 人は生まれながらに個人的な利を求めるようにできているから、争いごとが起こる。人のよい性質は、師による教化や礼義による矯正の結果である。
- ② 人には生来、他人を妬み憎む性質があるから、他人を傷つけてしまう。他人に誠実であると思われるような振る舞い方を身につけるのが得策である。
- ③ 人の本性は欲望を満たすことであるから、放任すれば必ず争いごとが起こる。ゆえに、官吏による法の制定や法による秩序の維持が必要である。
- ④ 人の本性は理であるが、気に基づく私欲に妨げられ、その本質を完全に発揮できないでいる。ゆえに、師の教えに従い、礼義を守ることが必要である。

いずれも、荀子の資料を用いてその思想の理解が問われた。荀子がとなえた性悪説を正確に理解したうえで資料を読解することが求められ、人が生まれながらにして持つ性質は欲望であり、善は師による教化や礼儀による矯正の結果であると想起することがポイントであった。

3 か国におけるバイオ燃料の利用や課題について考察する問題

共通テスト 第4問 問4

問4 ゲンタさんの班では、環境問題に関する解決策の導入が、他方では新たな地球の課題を生み出している側面に着目し、いくつかの国におけるバイオ燃料をめぐる問題について考えた。次のP～Rの文は、アメリカ合衆国、インドネシア、ブラジルのいずれかにおける、バイオ燃料の導入拡大にともなって懸念される問題について述べたものである。国名とP～Rとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

P バイオ燃料の利用が推進されたことで国内需要が増え、その主原料となるサトウキビの栽培地域が拡大し、熱帯雨林の破壊が進む。

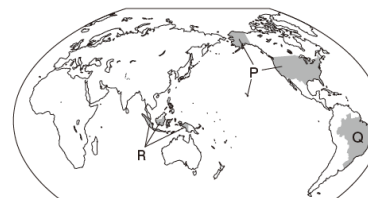
Q 国内でのバイオ燃料導入策の開始や輸出用バイオ燃料の需要増加により、その主原料となるアブラヤシの農園開発が、低地や湿地などの自然林にも拡大する。

R 世界最大のトウモロコシ生産国であるが、トウモロコシ由来のバイオ燃料の需要が増加したことで、競合する飼料用の供給量が減り、穀物価格の高騰につながる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	P	P	Q	Q	R	R
インドネシア	Q	R	P	R	P	Q
ブラジル	R	Q	R	P	Q	P

第3回ベネッセ・駿台模試 第4問 問4

問4 食料として利用されてきた作物やその加工品のなかには、近年バイオマス燃料としての利用が増加しているものもある。次の図3中のP～Rは、液体バイオマス燃料の生産量が多い3か国(2019年)を示したものである。また、後のタ～ツの文章は、P～Rのいずれかの国における液体バイオマス燃料の生産や利用について説明したものである。P～Rとタ～ツとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22



【データブック オブ・ザ・ワールド 2022】により作成。
図 3

タ この国では石油危機当時、国内の石油資源が非常に限られていたこともあり、国内で多く栽培されてきた作物を利用したバイオマス燃料の普及が進んだ。現在は食品原料として利用されない部分を原料としてバイオマス燃料を製造する技術の確立が進められている。

チ この国では、これまでも盛んに栽培されてきた油脂植物から取れる油を利用したバイオマス燃料の生産が進んでいる。この油は既にマーガリンや石けんなど多くの用途で利用されており、需要の増大に伴い栽培農地が拡大し、森林減少が問題となっている。

ツ この国では、食用以外に家畜の飼料としても使われる作物を利用してバイオマス燃料が生産されてきた。そのため、燃料用の需要増大に伴う価格高騰により、発展途上国における食料問題への影響が懸念されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Q	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
R	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

いずれも、アメリカ合衆国、インドネシア、ブラジルにおけるバイオ燃料の利用について扱われた。各国のバイオ燃料の生産や、バイオ燃料の導入拡大にともなって懸念される課題についての理解が求められた。